



文化博物館だより 第209号

2008年4月4日

みなさん、こんにちは。明石公園では、花々が色鮮やかに咲き始め、お花見をする人の姿も見られるようになってきました。

石山寺の美 観音・紫式部・源氏物語

石山寺は、紫式部が『源氏物語』の着想を得た地として知られ、伝承では、寛弘元年（1004）、紫式部が参籠した際、八月十五夜の名月の晩に、「須磨」「明石」の巻の発想を得、寛弘5年（1008）に完成したといわれています。今年、源氏物語成立千年の記念すべき年に当たります。本展は、源氏物語ゆかりの地であるこの明石の地において石山寺の歴史と源氏物語に焦点をあて、広く一般に展覧しようというものです。また、当館に限って特別出品される、明石を場面とした源氏絵屏風は、われわれを平安王朝のロマンの世界へと誘ってくれることでしょう。



(紫式部図) (部分) 土佐光起

会期：2008年4月5日(土)～5月11日(日)

休館日：4月28日(月)のみ展示替えのため休館

展覧会関連イベント

イベント名	日時	備考	申込
ギャラリートーク (学芸員による列品 解説)	4月19日(土) 午後2時～	時間になりましたら、 展示室にお集まり下さ い。	不要
	5月3日(土) 午後2時～		
イベント名	日時	内容	申込
特別講演会	4月13日(日) 午後2時～	演題：石山寺縁起絵 講師：梶谷亮治(元奈良 国立博物館学芸課長)	電話にて、受付中
	4月26日(土) 午後2時～	演題：石山寺と紫式部 講師：鷺尾遍隆(石山寺 座主)、鷺尾龍妙(石山 寺副座主)	4月15日9時～ 電話にて受付

イベント参加には観覧料がかかりますが、別途料金はいただきません。

会期中、展示替えがあります

春季特別展期間中の4月28日(月)に、展示替えのため、臨時休館致します。会期中(4月5日～5月11日)のその他の日は、全日開館します。

4月29日(火)以降には、石山寺の寺宝の中でも特に重要な国宝や重要文化財を、皆様にご覧頂きます。どうぞご期待下さい。

厳かに、雅に、平安絵巻が開きます

開催を間近にひかえ、『石山寺の美』展の搬入作業が行われました。

1階特別展示室には、金色に輝く「如意輪観音坐像」をはじめとする仏像、掛け軸などが並びました。2階ギャラリーの正面では、土佐光起筆の「紫式部図」のお出迎えです。

作業は美術品専門の業者が行い、貴重な品の数々を、慎重に展示ケースの中に納めました。何もなかった展示室には、パネルが組み立てられ、展示ケースが並び、物が入っていくにつれ、新たな空間が生まれます。明石の穏やかな春にふさわしい平安の雅の空間が、少しずつ現れてきます。

特別展では、物販を行っています。その準備も行われ、石山寺ゆかりの品々や図録が並びました。



2階ギャラリー。中央部にどんなものが並んだかは、会場でのお楽しみです。



石山寺ゆかりの品々を受付前で販売します。

2008年度のスケジュールが決まりました！



新年度の展覧会のご案内が出来上がりました。これまでの二つ折から三つ折になり、デザインも一新しました。淡い水色は、明石の海をイメージ。横には、黄色い太陽が輝いています。

まもなく開催される『石山寺の美』展を皮切りに、4回の特別展、5回の企画展を予定しています。やきもの、写真、絵画に歴史と、さまざまなジャンルにわたる展覧会にぜひ足をお運びください。

暖かくなってきましたね。明石公園の中をゆっくり歩きながら、館まで来られるのも良いかもしれません。お花見や散歩がてら、明日からの特別展にぜひ、お越し下さいね。